

2021年10月21日

東京都知事
小池百合子 殿

関東旅客船協会
会長 山崎潤一

関東旅客船協会からの要望事項について

1. 新型コロナ対策関連

新型コロナ感染症の影響により、利用客数が大幅減少し経営が悪化している事業者に対し、以下の措置をお願いしたいと存じます。

- ① 離島航路の維持のための補助金の大幅増額
- ② 港湾施設使用料及び河川に係る占用料等に対する支援
- ③ 屋形船事業への支援（利用者に対する補助制度の新設、防災船着き場利用料の減額継続など）

2. 東京港及び東京諸島の港湾整備

- ① 東京港竹芝棧橋の施設の一部（ボーディングブリッジ等）に老朽化がみられるため早期の整備をお願いしたいと存じます。
- ② 旅客ターミナル及び浮棧橋（日の出、お台場、芝浦）について、老朽化による雨漏りや柵の損壊等がみられるため補修をお願いしたいと存じます。
- ③ 東京諸島には、自然の良港と言ふべき港湾は少なく、港湾整備は、離島航路定期船の就航率の向上のために不可欠となっています。東京都におかれては、従来より計画的に港湾整備に取り組んでいただいておりますが、引き続き、整備を推進願います。

3. 旅客船事業の活性化及び旅客船の安全確保

① 東京都主導による船着場のグーグルマップへの反映

現在、定期運航に使用されている船着場にマーカーが打たれていますが、定期運航に使用される船着場はごく一部です。その他の船着場の大半が都の防災計画上の海上輸送または水上輸送基地になっていることから、このマーカー対応は発災時にも有効と考えられます。都主導で、都が所管する全ての船着き場をグーグルマップに反映するようお願いしたいと存じます。

また、マーカー対応に伴い、旅客船乗船の際にスマホ等の検索による船着場への誘導が的確に行えることとなり、お客様サービス向上に繋がることから事業の活性化に大いに役立つことと存じます。

② 東京舟運ポータルサイトの充実

舟運事業に観光要素は不可欠のため、情報共有や相互連携を図っていただき、さらなる舟運・観光情報の発信をお願いしたいと存じます。

③ 旅客船の河川等の航行の安全確保

狭い運河や河川を航行する船舶（一般のプレジャーボートを含む）が増えており座礁や橋脚への衝突リスクも増えています。小型船舶が航行する運河や河川において、定期的な調査と必要に応じた対応をお願いします。

また、プレジャーボート市場が活況を呈する中、都内係留施設はほぼ余力がないため、増隻や新規参入が難しい状況です。このため、河川等が不法係留の温床になり、それにより川幅が狭くなり事故を起こしかねないため、既存マリーナの拡張または航路の妨げになりにくい水域での係留施設の再構築をお願いしたいと存じます。

以 上